学校番号	411

令和８年度　地　理　歴　史　科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	３単位	学年	２年
使用教科書	新詳　地理探究（帝国書院）、新詳　高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地図資料 COMPLETE2025（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球を知り、世界を知り、人間を知る。地球の誕生は奇跡であり不思議なことばかりです。そこで生まれた人間はどのような生活をしているのか。グローバル化する国際社会を知るためにも必要な授業だと言えます。社会科という教科は、どうしても暗記は多くなりますが、疑問を解決して新たな発見をすることで楽しい授業となります。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、世界の生活文化を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
課題に対して情報収集の技術を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
社会参画の意識が芽生える。グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	事象をもとに現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。	地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。	よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(ｃ)
一学期	第 1 部　現代世界の系統地理的考察 第 1 章　自然環境 1節　地形 2 節　気候 3 節　日本の自然環境 4 節　地球環境問題	a：地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や関連する地球的課題の要因、動向などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c：自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究している。	・小テスト ・発問評価 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・定期考査	・授業態度 ・授業プリント ・課題提出
	第 2 章　資源と産業 1 節　農林水産業 2 節　食料問題 3 節、4 節、5 節　エネルギー・鉱産資源 6 節　第 3 次産業	a：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c：資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

二学期	第3章　交通・通信 と 観光、貿易 1節　交通・通信 2節　観光 3節　貿易と経済圏	a：地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や関連する地球的課題の要因、動向などを多面的・多角的に考察し表現することができる。 c：自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・小テスト ・発問評価	・発問評価 ・課題提出 ・小テスト	・授業態度 ・授業プリント
	第4章　人口，村落・都市 1節　人口 2節　人口問題 3節　村落と都市 4節　都市・居住問題	a：人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現することができる。 c：人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	・定期考査	・定期考査	・課題提出

三学期	第 5 章　生活文化、民族･宗教 1 節　衣食住 2 節　民族･宗教と民族問題 3 節　国家の領域と領土問題	a：生活文化，民族･宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて日本の領土問題も合わせて理解している。 b：世界の生活文化，民族・宗教、日本の領土問題などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的･多角的に考察し，表現することができる。 c：世界の生活文化，民族・宗教，日本の領土問題などについて，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	･小テスト ･発問評価 ･定期考査	･授業態度 ･発問評価 ･授業プリント ･定期考査	･授業態度 ･授業プリント ･課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度